

## ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト

～世界で輝け未来のトップアスリート～

### 実施要項

1. 趣旨・目的：

本事業は、2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会終了後も、将来性の豊かな地域のスポーツタレント又はアスリートからメダル獲得の潜在能力を有するメダルポテンシャルアスリートまでの持続可能で強固なアスリートを育成する道筋（パスウェイ）「アスリート育成パスウェイ」を構築・充実させることを目的に実施する。

2. 主催：公益財団法人日本体育協会

3. 協力：公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会

4. 後援（予定）：スポーツ庁、公益財団法人日本中学校体育連盟、公益財団法人全国高等学校体育連盟、公益財団法人日本高等学校野球連盟

5. 実施期間：平成 29 年度～平成 30 年度（予定）

6. 内容：

・ 種目最適（転向）型タレント発掘/育成

本事業は、発掘、検証の 2 つの要素から構成され、日本オリンピック委員会（JOC）と協力し、都道府県体育（スポーツ）協会に一部委託の上、競技拠点県と対象競技を設定して行う。

平成 29 年度は、全国の中学・高校生年代（平成 29 年 4 月 1 日現在 12 歳から 17 歳）の男女のうち、既に高い身体能力や競技経験（成績）を有する者を対象に、測定会等の発掘フェーズと、その後の有望者による合宿等の検証フェーズを実施する。また、関係者に事業の内容や重要性を周知する場や機会を創出するための競技拠点県フォーラムを各競技拠点県にて各 1 回実施する。

平成 30 年度は、平成 29 年度事業での検証フェーズを継続し、検証フェーズで選考された有望者を中央競技団体が実施する育成プログラムへ引き継ぐとともに、新たに発掘フェーズと検証フェーズを実施する（予定）。

・ 障がい者アスリート発掘/育成

本事業は、発掘、検証の 2 つの要素から構成され、日本障がい者スポーツ協会（JPSA）と協力し、都道府県体育（スポーツ）協会に一部委託の上、競技拠点県と対象競技を設定して行う。

平成 29 年度は、全国の障がい者（平成 29 年 4 月 1 日現在 12 歳から 38 歳）の男女を対象に、測定会等の発掘フェーズと、その後の有望者による合宿等の検証フェーズを実施する。また、関係者に事業の内容や重要性を周知する場や機会を創出するための競技拠点県フォーラムを各競技拠点県にて各 1 回実施する。

平成 30 年度は、平成 29 年度事業での検証フェーズを継続し、検証フェーズで選考された有望者を中央競技団体が実施する育成プログラムへ引き継ぐとともに、新たに発掘フェーズと検証フェーズを実施する（予定）。

7. 競技拠点県（委託先）：

都道府県体育（スポーツ）協会を対象に公益財団法人日本体育協会が実施する公募に基づいて選定する。

8. 対象競技：

オリンピック競技大会及びパラリンピック競技大会実施競技団体を対象に日本スポーツ振興センターが実施する書面調査等の調査結果に基づいて選定する。

9. 実施方法

公益財団法人日本体育協会が対象競技の中央競技団体等と協力して実施するほか、競技拠点県の都道府県体育（スポーツ）協会に事業の一部を委託する。委託に関する詳細は、「委託要項」に定める。

## ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト

～世界で輝け未来のトップアスリート～

### 平成 29 年度委託要項

#### 1. 目的

公益財団法人日本体育協会(以下「本会」という。)は、「ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト」の実施により、2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会終了後も、将来性の豊かな地域のスポーツタレント又はアスリートからメダル獲得の潜在能力を有するメダルポテンシャルアスリートまでの持続可能で強固なアスリートを育成する道筋(パスウェイ)「アスリート育成パスウェイ」を構築・充実させるため、その事業の一部を都道府県体育(スポーツ)協会に委託する。

#### 2. 委託内容

- ・ 都道府県実行委員会の設置・運営
- ・ 競技拠点県フォーラムの開催
- ・ 第2ステージ(測定会)への協力(測定会会場と競技拠点県が同一の場合のみ)
- ・ 第3ステージ・第2ステップ(合宿等)の実施
- ・ その他本事業の推進に必要な活動

#### 3. 委託先(競技拠点県)

都道府県体育(スポーツ)協会

#### 4. 対象競技

オリンピック競技大会及びパラリンピック競技大会実施競技団体を対象に日本スポーツ振興センターが実施した書面調査及びヒアリング等の結果に基づき以下の競技を対象競技とする。

- ・ オリンピック競技  
水泳(飛込)、ボート、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、  
7人制ラグビー(女子)、ソフトボール(女子)
- ・ パラリンピック競技  
ボッチャ、自転車、パワーリフティング、水泳、車いすフェンシング

#### 5. 委託期間

本事業の委託期間は、原則として委託を受けた日から平成30年3月18日までとする。

なお、本事業は2年間で実施する予定であるが、契約は年度ごとに締結するものとする。

#### 6. 実施方法

##### (1) 都道府県実行委員会の設置・運営

委託を受けた都道府県体育(スポーツ)協会は、対象競技団体関係者、学識経験者、関係役職員等の関係者からなり、事業の具体的な計画の策定、運営についての指導・助言等を行う実行委員会を設置・運営する。

なお、すでに当該内容を実施できる会議体等が設置されている場合は、当該会議体等を本事業の実行委員会に替えることができる。

##### (2) 競技拠点県フォーラムの開催

競技拠点県において事業の推進を担う本会公認スポーツ指導者や日本障がい者スポーツ協会公認障がい者スポーツ指導者をはじめとした関係者に事業の内容や重要性を周知する場としてフォーラムを企画・開催する。

➤ 会場手配

- 内容企画(講師等調整)
  - 参加者募集/管理
  - 当日運営
- (3) 第2ステージ(測定会)への協力(測定会会場と競技拠点県が同一の場合のみ)  
有望者を選考するための測定会へ協力する。
- 物品手配への協力
  - 当日運営への協力
  - 運営係員等の確保・手配への協力
- (4) 第3ステージ・第2ステップ(合宿等)の実施  
当該競技団体と協力し、有望者を検証するための合宿等を開催・運営する。
- 競技の検証プログラム(合宿等)の運営
  - 会場/宿泊等手配への協力
  - 当日運営への協力
  - 有望者への連絡
- (5) その他本事業の推進に必要となる活動  
都道府県内の関係者に事業の内容や重要性を周知するための広報活動や、事業の実施を効率的かつ効果的に実施するために必要となる諸活動の充実に努める。
- ホームページ等による実施報告
  - 関連事業等との連携
  - 地域の子どもや保護者・指導者を対象とした研修イベント等の実施

## 7. 委託手続

- (1) 委託を希望する都道府県体育(スポーツ)協会は、対象競技の中央競技団体から競技拠点県としての同意を取り付ける(「再委託公募確認書」を発行してもらう)とともに、当該競技団体と協議の上で作成した事業計画申請書類等を本会へ提出すること。
- (2) 本会は、提出された事業計画申請書類等を本会国民体育大会委員会競技者育成部会において審査し、適切であると認めた場合、当該都道府県体育(スポーツ)協会に対し事業を委託する。

## 8. 委託経費

- (1) 本会は、予算の範囲内で当該事業の実施に必要な経費(設備備品、人件費、謝金、旅費、借損料、印刷製本費、消耗品費、会議費、通信運搬費、雑役務費、消費税相当額)を委託費として支出する。
- (2) 本会は、委託費を、額の確定後、受託都道府県体育(スポーツ)協会の請求により支払うものとする。ただし、受託都道府県体育(スポーツ)協会が事業の完了前に必要な経費の支払を受けようとし、本会が必要であると認めるときは、委託契約額の80%相当額を概算払いするものとする。
- (3) 受託都道府県体育(スポーツ)協会は契約締結及び支払を行う場合には、別に定める基準に基づき、経費の効率的な使用に努めること。
- (4) 受託都道府県体育(スポーツ)協会は契約締結後、事業の実施過程において、事業計画申請書類について変更する必要があるときは、速やかに本会に報告し、その指示を受けるものとする。ただし、経費区分間の流用であり、経費区分間で増減する額が委託費の総額の20%を超えない場合については、この限りではない。
- (5) 受託都道府県体育(スポーツ)協会は、委託費の収入及び支出に当たっては、他の経費と区分して帳簿を備え、領収書等関係書類を整理し、経理の状況を明らかにしておくものとし、事業を実施した翌年度から7年間保存する。
- (6) 本会は、都道府県体育(スポーツ)協会が当該委託要項、委託契約書又は経理処理要項に違反したとき、実施に当たり不正若しくは不当な行為をしたとき、又は委託事業の遂行が困難であると認めたときは、委託契約を解除し、経費の全部又は一部について返還を命じることができる。

## 9. 再委託

本事業の全部または一部を第三者に委託することはできない。

## 10. 事業完了(廃止等)の報告

- (1) 受託都道府県体育(スポーツ)協会は、本事業が完了したとき、廃止又は中止(以下、「廃止等」という。)の承認を受けたときは、完了した日から30日を経過した日、又は平成30年3月31日のいずれか早い日までに事業報告書類を本会に提出するものとする。
- (2) 本会は、事業の成果普及等のため、上記(1)で定める事業報告書類のほか、事業における取組について事例の提供や、成果の報告等を求めることができる。

## 11. 委託費の額の確定

- (1) 本会は、上記10(1)により提出された事業報告書類について、検査及び必要に応じて現地検査を行い、その内容が適正であると認めたときは、委託費の額を確定し、受託都道府県体育(スポーツ)協会に対して通知するものとする。
- (2) 上記(1)の確定額は、事業に要した実支出額又は委託契約額のいずれか低い額とする。
- (3) 上記8(2)により委託契約額の80%相当額の概算払いを受けた場合は、上記(1)の確定額との差額を支払うものとする。

## 12. その他

- (1) 本会は、受託都道府県体育(スポーツ)協会による本事業の実施が当該趣旨に反すると認められるときは、必要な是正措置を講ずるよう求めることができる。
- (2) 本会は、委託業務の実施に当たり、受託都道府県体育(スポーツ)協会の求めに応じて指導・助言を行うとともに、その効果的な運営を図るために協力する。
- (3) 本会は、必要に応じ、この実施事業及び経理処理状況について、実態調査を行うことができる。
- (4) 本事業の実施に伴い発生した著作権(著作権法(昭和45年法律第48号)第21条から第28条までに規定するすべての権利を含む。)については、原則として本会に帰属させるものとする。ただし、これに拠らない場合は、別途本会と協議すること。
- (5) この要項に定めるもののほか、本事業の実施に当たり必要な事項については別に定める。

## ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト

～世界で輝け未来のトップアスリート～

## 平成 29 年度応募要項(案)

## 1. 趣旨・目的:

このプロジェクトは、多くの子どもたちや障がい者に自分の可能性に挑戦する機会を提供します。このプロジェクトによって、多くの将来性豊かなアスリート「ライジング・スター(希望の星)」が日本全国から発掘・育成され、世界で活躍することを目指します。

## 2. 主催: 公益財団法人日本体育協会

## 3. 協力: 公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会

## 4. 後援(予定): スポーツ庁、公益財団法人日本中学校体育連盟、公益財団法人全国高等学校体育連盟

## 5. 概要:

このプロジェクトでは、オリンピック競技、パラリンピック競技それぞれについて、あらかじめ競技拠点県と対象競技の組合せを設定して行います。

また、「発掘」と「検証」に関する内容を大きく3つのステージに分けて行います。

## 【第1ステージ】

全国から条件を満たした方の応募を受け付けます。定員を超える応募があった場合は、審査を行い、第2ステージへの通過者を決定します。

## 【第2ステージ】

第1ステージ通過者を対象に、測定会(体力測定や対象競技の競技体験等)を実施し、測定結果等に基づいて第3ステージへの通過者を決定します。

## 【第3ステージ】

まず、第2ステージ通過者を対象に、中央合宿(より専門的な測定や対象競技との面談等)を実施します。

続いて、中央合宿の結果、特定の対象競技から有望者として選考された方を対象に、その対象競技の競技拠点県において、合宿やトレーニング等による「検証」を行います。「検証」の期間は、約1年間とし、その期間中に次のステップ(対象競技が実施する育成プログラム)の対象者とするかどうかを決定します。

## ● オリンピック競技

## 【競技拠点県・対象競技】

	水泳(飛込)
	ウエイトリフティング
	自転車
	ソフトボール(女子)

	ボート
	ハンドボール
	7人制ラグビー(女子)

## 【測定会場】

7/25(火)	北海道	北海道立総合体育センター<北海きたえーる>(北海道・札幌市)
7/29(土)	東北	東北文化学園大学(宮城県・仙台市)
8/26(土)	関東	日本体育大学(東京都・世田谷区)
8/11(金・祝)	北信越	東総合スポーツセンター(新潟県・新潟市)
8/5(土)	東海	至学館大学(愛知県・大府市)
8/20(日)	近畿	大阪体育大学(大阪府・泉南郡熊取町)
8/3(木)	中国	岡山県総合グラウンド体育館<ジップアリーナ岡山>(岡山県・岡山市)
8/18(金)	四国	高松市総合体育館(香川県・高松市)
9/17(日)	九州	福岡大学(福岡県・福岡市)

## 【中央合宿】

11/3(金・祝)~4(土)	日本体育大学(東京都・世田谷区)
----------------	------------------

● パラリンピック競技

【競技拠点県・対象競技】

	水泳
	パワーリフティング
	自転車

	ボッチャ
	車いすフェンシング

【測定会場】

7/30(日)	東北	東北文化学園大学(宮城県・仙台市)
9/10(日)	関東	障害者スポーツ文化センター<横浜ラポール>(神奈川県・横浜市)
8/6(日)	東海	至学館大学(愛知県・大府市)
8/13(日)	近畿	京都市障害者スポーツセンター(京都府・京都市)
9/18(月・祝)	九州	福岡大学(福岡県・福岡市)

【中央合宿】

11/4(土)～5(日)	日本体育大学(東京都・世田谷区)
--------------	------------------

6. 参加料：無料

7. 旅費補助：

● オリンピック競技

第3ステージの合宿等への参加に伴う旅費<本人分のみ>を公益財団法人日本体育協会が定める規定に基づき支給する。

● パラリンピック競技

第2ステージの測定会及び第3ステージの合宿等への参加に伴う旅費<本人と介助者(最大1名)分>を公益財団法人日本体育協会が定める規定に基づき支給する。

8. 応募期間：

平成29年6月1日(木)～7月2日(日)

※ 測定会への参加可否は、選考基準に基づき決定し、7月10日(月)までにメールで連絡する。

9. 応募方法：

専用オンラインシステムから応募期間内に応募すること。

【入力内容(概要)】

● 共通

- ・ 氏名／連絡先等
- ・ 測定会場 ※第1～3希望
- ・ 挑戦したい競技
- ・ 新体力テストの測定結果
- ・ スポーツ歴
- ・ 既往歴／既往症
- ・ 保護者氏名／連絡先等 ※応募者が18歳未満の場合

● オリンピック競技

- ・ 身長(過去5年分)／体重

● パラリンピック競技

- ・ 身長／体重
- ・ 障がい種別
- ・ 自己PR動画(推奨)

10. 応募条件等：

● 共通

日本国籍を有する者であること。

性別は問わず(オリンピック競技の「7人制ラグビー」と「ソフトボール」は女子のみ)。

測定会及び中央合宿に参加可能であること。

応募時現在で対象競技が実施する育成プログラムの対象者でないこと。

● オリンピック競技

年齢：平成 29 年(2017 年)4 月 1 日現在で満 12 歳から満 17 歳の者

※ 平成 11 年(1999 年)4 月 2 日から平成 17 年(2005 年)4 月 1 日までに生まれた者

【参考】平成 29 年(2017 年)4 月 1 日現在

満 12 歳 平成 16 年(2004 年)4 月 2 日から平成 17 年(2005 年)4 月 1 日(中学 1 年生年代)

満 17 歳 平成 11 年(1999 年)4 月 2 日から平成 12 年(2000 年)4 月 1 日(高校 3 年生年代)

体力テスト結果等：以下の①～③のいずれかに該当する者

① 新体力テストの合計点が以下の点数以上であること。

測定時の学年	男性	女性
小学 6 年生	67 点	68 点
中学 1 年生	40 点	51 点
中学 2 年生	49 点	58 点
中学 3 年生	57 点	61 点
高校 1 年生	57 点	58 点
高校 2 年生	62 点	60 点
高校 3 年生	65 点	61 点

<注意事項>

測定日は平成 28 年(2016 年)4 月 1 日～平成 29 年(2017 年)7 月 2 日(日)の期間内とし、測定時の学年(年代)の点数を基準とする。

例) 中学 1 年生・男性(応募時)

中学 1 年生になってから測定していない場合は、小学 6 年生の時に測定した結果が小学 6 年生・男性の基準である「67 点」以上であれば応募可能となる。

\* 測定時に小学 6 年生の場合は、「新体力テスト実施要項(6～11 歳対象)」に基づき実施した測定結果とし、8 項目の合計点とする。

\* 測定時に中学 1 年生以上の場合は、「新体力テスト実施要項(12～19 歳対象)」に基づき実施した測定結果とし、8 項目(「持久走」と「20m シャトルラン」はどちらかを選択)の合計点とする。

② 新体力テストの項目別の測定結果のいずれかが以下の値以上であること。

【男性】

測定時の学年	握力	上体	長座	反復	持久走	往復走	50m 走	立幅	ハンド (ソフト)
小学 6 年生	25kg	27 回	42cm	52 回	-	84 回	8.2 秒	184cm	35m
中学 1 年生	29kg	29 回	47cm	55 回	376 秒	91 回	7.9 秒	199cm	23m
中学 2 年生	36kg	33 回	52cm	59 回	342 秒	108 回	7.2 秒	214cm	26m
中学 3 年生	41kg	35 回	56cm	61 回	325 秒	115 回	7.0 秒	233cm	29m
高校 1 年生	44kg	35 回	56cm	61 回	334 秒	106 回	7.0 秒	236cm	29m
高校 2 年生	46kg	37 回	59cm	63 回	320 秒	115 回	6.8 秒	243cm	30m
高校 3 年生	49kg	38 回	61cm	65 回	314 秒	117 回	6.8 秒	249cm	32m

【女性】

測定時の学年	握力	上体	長座	反復	持久走	往復走	50m 走	立幅	ハンド (ソフト)
小学 6 年生	23kg	24 回	47cm	49 回	-	66 回	8.5 秒	175cm	21m
中学 1 年生	25kg	25 回	51cm	50 回	267 秒	67 回	8.4 秒	182cm	15m
中学 2 年生	28kg	29 回	53cm	53 回	251 秒	78 回	8.1 秒	190cm	17m
中学 3 年生	29kg	30 回	56cm	54 回	249 秒	78 回	8.0 秒	195cm	18m
高校 1 年生	29kg	28 回	55cm	52 回	265 秒	66 回	8.3 秒	189cm	17m
高校 2 年生	30kg	29 回	57cm	53 回	261 秒	70 回	8.2 秒	192cm	18m
高校 3 年生	31kg	30 回	58cm	53 回	262 秒	68 回	8.2 秒	192cm	19m

※ 上体：上体起こし、長座：長座体前屈、反復：反復横とび、往復走：20mシャトルラン(往復持久走)、立幅：立ち幅とび、ハンド(ソフト)：ハンドボール投げ(ソフトボール投げ)

＜注意事項＞

測定日は平成 28 年(2016 年)4 月 1 日～平成 29 年(2017 年)7 月 2 日(日)の期間内とし、測定時の学年(年代)の測定値を基準とする。

例) 中学 1 年生・男性(応募時)

中学 1 年生になってから測定していない場合は、小学 6 年生の時に測定した結果のうちいずれかの項目が小学 6 年生・男性の基準値を上回っていれば応募可能となる。

※ 測定時に小学 6 年生の場合は、「新体力テスト実施要項(6～11 歳対象)」に基づき実施した測定結果とする。

※ 測定時に中学 1 年生以上の場合は、「新体力テスト実施要項(12～19 歳対象)」に基づき実施した測定結果とする。

③ 国民体育大会及び中体連・高体連・高野連主催の全国大会への出場経験

＜注意事項＞

※ ①か②の要件を満たさない場合は必須

※ 出場した全国大会の正式名称と成績、開催期日を入力。

※ 大会は平成 28 年(2016 年)4 月 1 日～平成 29 年(2017 年)7 月 2 日(日)の期間内に開催されたものを対象とする。

● パラリンピック競技

年齢：平成 29 年(2017 年)4 月 1 日現在で満 12 歳から満 38 歳の者

※ 昭和 53 年(1978 年)4 月 2 日から平成 17 年(2005 年)4 月 1 日までに生まれた者

【参考】平成 29 年(2017 年)4 月 1 日現在

満 12 歳 平成 16 年(2004 年)4 月 2 日から平成 17 年(2005 年)4 月 1 日(中学 1 年生年代)

満 38 歳 昭和 53 年(1978 年)4 月 2 日から昭和 54 年(1979 年)4 月 1 日

障がい種別：肢体不自由(下肢障がい)、肢体不自由(切断・機能障がい・脳性麻痺・脊髄の障がい)・視覚障がい・知的障がい(療育手帳を保有していること)

※ パラリンピック競技大会出場可能障がい種別であること。

その他：以下については、第 2 ステージ内定者を選考する際の評価資料とする。

・ 新体力テストの測定結果(推奨)

テスト項目のうち測定結果を有する項目を応募時に申請すること。

※ 測定時に小学 6 年生の場合は、「新体力テスト実施要項(6～11 歳対象)」に基づき実施した測定結果とする。

※ 測定時に中学 1 年生以上の場合は、「新体力テスト実施要項(12～19 歳対象)」に基づき実施した測定結果とする。



- ・ 自己PR動画(推奨)

車いす、立位ともに、日常生活で使用している車いすや装具を使用し、移動あるいは歩いている様子(全身)を対象者の横あるいは斜め前方から撮影した動画を応募時にアップロードすること。時間は10～15秒程度。

※ 推奨フォーマット：mp4、容量制限：100MB

#### 11. 第2ステージ内定者決定方法：

- (1) 測定会場ごとにそれぞれの会場を第1希望とする応募者について、以下【選考方法】に基づき内定者を決定する。
- (2) 内定者数が定員に達しない会場があった場合は、他会場の内定から漏れた者で、当該会場を第2希望とする者の中から以下の選考方法に基づき内定者を決定する。
- (3) さらに内定者数が定員に達しない会場があった場合は、他会場の内定から漏れた者で、当該会場を第3希望とする者の中から以下の選考方法に基づき内定者を決定する。

##### 【選考方法】

##### ● オリンピック競技

応募時に登録された「応募条件等」の「体力テスト結果等」の①～③について、該当する要件ごとに上位の者から内定者を決定する。

##### ● パラリンピック競技

- 1) 応募者の障がい種別について、パラリンピック競技大会出場可能障がい種別に該当しているか確認し、該当者のみを選考対象とする。
- 2) 以下内容を総合的に検討し、メダルポテンシャルアスリートへの可能性が高い者から内定する。
  - ・ 障がい種別（可能な場合は簡易なクラス分け含む）
  - ・ 年齢
  - ・ 性別
  - ・ スポーツ歴や運動経験（新体力テストの測定結果等含む）
  - ・ 自己PR動画

#### 12. 同意事項：

本事業への応募時にあたり、以下事項へ同意すること。なお、応募者が18歳未満の場合は、保護者の同意を得ること。

- (1) 本事業の概要を理解したこと。
- (2) 事業期間中の健康管理に十分配慮し、良好な健康状態を目指すこと。
- (3) インフルエンザやノロウイルス等を含めて参加が不可能と判断された場合、参加しないこと(帰宅すること)。
- (4) 参加者の個人情報に関して、公益財団法人日本体育協会の責任の下、厳重に管理して本事業に直接関わる目的以外には使用しないことを理解したこと。
- (5) 事業中に収集される体力データ等は、個人を特定できないよう処理したものを、学会や学術誌、メディア等に発表する場合があること。
- (6) 事業中の写真や映像を報道発表や公益財団法人日本体育協会のホームページ、ニュースレター、広報活動等に掲載する場合があること。
- (7) 事業中に事故または怪我が発生した場合の処置については、参加者各自で責任を負うこと(発生時に本事業関係者による応急処置は実施予定)。
- (8) 参加者及び保護者は、同意後でも、いつでもこの同意を撤回できること。

#### 13. その他：

- (1) 測定会や合宿等の参加者を被保険者として傷害保険に加入します。
- (2) 測定会当日は体力測定等を行いますので以下を忘れずにお持ちください。
  - ・ トレーニングウェア(運動できる服装)
  - ・ スポーツ活動用シューズ(室内用)
  - ・ 健康保険証
- (3) 天候不順等で測定会等の開催を中止する場合は、申込時に登録された連絡先(メール)に連絡する他、公益財団法人日本体育協会ホームページ等によりその旨を掲載します。

<問合せ先>公益財団法人日本体育協会 国体推進部 競技支援課

〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1

TEL：03-3481-2453 FAX：03-3481-2284 E-mail：j-star@japan-sports.or.jp